第 207 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録 ~~(案)~~

１．日時　　2012 年 12 月 14 日(水)　10:30～12:00

２．開催場所　　愛知県産業労働センター(ウインクあいち) 1107 会議室
〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅 4-4-38

３．出席者　　(順不同，敬称略，○：出席，×：欠席)

幹事団

長尾委員長(豊橋技科大)	○	田中(康)幹事(東京都市大)	○	芦辺幹事(住友電工)	○
関口幹事(住友電工)	○	高橋幹事補佐(電中研)	○	今井幹事補佐(東芝) 記	○

１号委員

岡下委員(昭和電線)	○	岡本委員(富士電機)	×	小林委員(日立製作所)	○
平野委員(東芝) 代理 今井	○	田中委員(ビスキャス)	○	中坊委員(日新電機)	○
菱川委員(ﾊﾝﾂﾏﾝ･ｼﾞｬﾊﾟﾝ)	○	近藤委員(日本ｶﾞｲｼ)	○	穂積委員(豊橋技科大)	×
本城委員(三菱電線)	×	武藤委員(三菱電機)	○	渡辺委員(日立電線)	○
蔵田(明電舎)	○				

２号委員

池田委員(原子力安全基盤機構)	○	岩本委員(東工大)	×	加藤委員(新潟大)	×
田中(祀)委員(早大) 代理 今井	○	本間委員(電中研)	○		

４．提出資料

番号なし	第 206 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録（案）
DEI-207-1	電気学会 誘電・絶縁材料技術委員会 委員名簿
DEI-207-2	A 部門編集委員会
DEI-207-3-1	第 6 回 新機能・高性能有機デバイス応用のためのナノ材料・構造制御 調査専門委員会 議事録
DEI-207-3-2	第 7 回 新機能・高性能有機デバイス応用のためのナノ材料・構造制御 調査専門委員会 議事録
DEI-207-4	第 10 回 先端複合ポリマーナノコンポジット誘電体の応用技術 調査専門委員会 議事録
DEI-207-5-1	屋外用ポリマー絶縁材料の性能評価・改質技術 調査専門委員会 第 8 回議事録
DEI-207-5-2	屋外用ポリマー絶縁材料の性能評価・改質技術 調査専門委員会 第 9 回議事録
DEI-207-6	平成 24 年度 誘電・絶縁材料研究会，技術委員会，その他行事予定（3 次案）
DEI-207-7	調査専門委員会フォローシート（2012 年度計画）

DEI-207-8　先端複合ポリマーナノコンポジット誘電体の応用技術 調査専門委員会 解散報告書
DEI-207-9　屋外用ポリマー絶縁材料の性能評価・改質技術 調査専門委員会 解散報告書
DEI-207-10　電気学会「優秀技術活動賞」、「特別活動賞」候補者推薦用紙（屋外用ポリマー絶縁材料の性能評価・改質技術 調査専門委員会）
DEI-207-11　第 43 回 電気電子絶縁材料システムシンポジウム 開催報告
DEI-207-12　第 43 回 電気電子絶縁材料システムシンポジウム 収支報告
DEI-207-13　第 44 回 電気電子絶縁材料システムシンポジウム および ISEIM 2014 について

５．議事内容

5-1. 議事録の確認・承認（今井幹事補佐）

第 20６回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録(案)の確認を行い、下記を修正の上、承認された。

- 2 頁目 5-3　誤）調査専門委員会長　→　正）調査専門委員会 委員長
- 3 頁目 5-5　誤）2 月に、研究会　→　正）12 月に、研究会
- 3 頁目 5-5　誤）絶縁診断に基づく電力機器のアセットマネジメント
  正）電力設備の絶縁材料から見た劣化診断技術

5-2. 名簿の確認（高橋幹事補佐）

資料 DEI-207-1 に基づき、委員の所属等について確認を行った。また、下記の委員の交代が承認された。

- 住友電工 芦辺幹事　→　住友電工 関口幹事
- 日立電線 渡辺委員　→　日立電線 千綿委員
- 旧日本ＡＥパワーシステム 野田委員 →　明電舎　蔵田委員

5-3. 第 92 回 基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会 出席報告（長尾委員長）

基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会(以下、A 部門運営委員会)議事内容において、当技術委員会に関係の深い事項が報告された。

- インバータ駆動モータコイルの絶縁評価法 調査専門委員会の設置について、A 部門運営委員会で承認された。幹事団は、兵庫県立大 永田委員長、東芝 廣瀬幹事、豊橋技科大 村上幹事、兵庫県立大 菊池幹事補佐とする。
- 平成 25 年の全国大会において、当技術委員会から提案していたシンポジウム２件(屋外用ポリマー絶縁材料の性能評価・改質技術，電力設備の絶縁材料から見た劣化診断技術)は、いずれも承認された。
- 技術報告が未提出となっている調査専門委員会については、A 部門運営委員会から、直接、調査専門委員会 委員長へ状況を問い合わせる予定である。

5-4. A部門編集委員会（池田委員）

資料 DEI-207-2 に基づき、A 部門編集委員会での議事が報告された。

- 電気学会 125 年記念誌については、1. 総説，2-6. 変圧器，6-3. 絶縁破壊特性，7-2. 油浸絶縁の 4 件が未提出となっている。
- 2-6. 変圧器，7-2. 油浸絶縁については、富士電機 岡本委員を通じて依頼している。
- 2-6. 変圧器については、B 部門でも原稿を作成しており重複している。最終的な判断は、125 年記念誌の編集委員会に委ねる。
- 電気学会論文誌 A での ISEIM 2011 特集号は、2013 年 2 月号に掲載予定。
- 電気学会論文誌 A での ISEIM 2011 特集号における、海外からの投稿者に対する掲載料の半額補助について、田中幹事から状況を電気学会事務局に問い合わせる。
- 電気学会論文誌 A での 2012 年絶縁材料シンポジウム特集号は、2014 年 3 月号に掲載するように進める。永尾委員長，田中幹事で候補者をリストアップする。また、論文投稿の締め切りを電気学会事務局と調整し、2013年の6月末から3月末に前倒しする。
- 当技術委員会で、2013 年の 2 月と 9 月のニュースレターを担当予定となっている。2 月分は、他の内容で補完するが、9 月分は長尾委員長と相談して、執筆候補者を決める。
- 今後の引継ぎのため、池田委員に、編集委員として実施すべき業務をリストアップしておいてもらう。

5-5. 第 6, 7 回 新機能・高性能有機デバイス応用のためのナノ材料・構造制御 調査専門委員会 議事録の報告

資料 DEI-207-3-1 及び DEI-207-3-2 に基づき、第 6, 7 回 新機能・高性能有機デバイス応用のためのナノ材料・構造制御 調査専門委員会 議事録が報告された。

5-6. 第 10 回 先端複合ポリマーナノコンポジット誘電体の応用技術 調査専門委員会 議事録の報告（今井幹事補佐）

資料 DEI-207-4 に基づき、第 10 回 先端複合ポリマーナノコンポジット誘電体の応用技術 調査専門委員会の議事録が報告された。

5-7. 第 8, 9 回 屋外用ポリマー絶縁材料の性能評価・改質技術 調査専門委員会 議事録の報告（本間委員）

資料 DEI-207-5-1 及び DEI-207-5-2 に基づき、第 8, 9 回 屋外用ポリマー絶縁材料の性能評価・改質技術 調査専門委員会の議事録が報告された。

5-8. 平成 24 年度 誘電・絶縁材料研究会，技術委員会，その他行事予定の確認（田中幹事）

資料 DEI-207-6 に基づき、平成 24 年度 誘電・絶縁材料研究会，技術委員会，その他行事予定(3 次案)の確認を行った。

- 12 月 14 日に開催の研究会(ケーブルシステムの絶縁技術・トリー・トラッキング，名古屋で開催)での発表件数は、9 件で確定した。
- 12 月 18 日に開催の研究会(空間電荷・ナノコン，東京で開催)での発表件数は、15 件で確定した。

- 平成 24 年における誘電・絶縁材料研究会の発表件数合計は、71 件で確定した。
- 平成 25 年 1 月 24 日に開催予定の研究会(有機材料・一般，名古屋で開催)での発表件数は、9 件で確定したが、電子情報通信学会との連催であるため、配分は現時点では不明。
- 平成 25 年 2 月 13 日に開催予定の研究会(劣化診断・機器 ケーブル・絶縁一般，東京で開催)での発表件数は、9 件で確定した。
- 平成 25 年 3 月 11 日開催予定の研究会(国際会議報告・学際分野・絶縁一般，東京で開催)は、開催日を平成 25 年 3 月 15 日に変更する。
- 平成 25 年 3 月 11 日開催予定の研究会における国際会議報告では、留学報告(豊橋技科大 村上先生，九州工大 小迫先生)，CEIDP(東京都市大 三宅先生)，ICPADM(豊橋技科大 栗本先生)にお願いする。他の国際会議としては IEC，CIGRE，CMD への参加者に発表をお願いする。
- 平成 25 年度 誘電・絶縁材料研究会，技術委員会，その他行事予定(0 次案)が紹介され、平成 24 年度とほぼ同じ時期に研究会，技術委員会を開催することを確認した。

5-9. 調査専門委員会活動状況の確認（田中幹事）

資料 DEI-207-7 に基づき、調査専門委員会活動状況の確認を行なった。

- 電力機器の革新的診断技術の現状と将来展望
  - 10 月 2 日に、幹事会を開催。
  - 12 月 21 日に、幹事会を開催予定。
  - 11 月 2 日に、第 1 回委員会を開催。
- インバータ駆動モータコイルの絶縁評価法
  - 設置を 2013 年 1 月、解散を 2015 年 12 月とする。
  - 2013 年 2 月に、第 1 回委員会を関西方面で開催予定。
- 新機能・高性能有機デバイス応用のためのナノ材料・構造制御
  - 10 月 18 に、委員会を開催。
  - 2013 年 1 月 21 日，3 月 21 日に委員会を開催予定。
- 「アジア地区における有機誘電体・導電性電気電子材料研究の最前線」に関する
  - 11 月 1 日に、委員会を開催。
  - 2013 年 2 月 4 日に、次回委員会を開催予定。
  - 2013 年 3 月 22 日の全国大会で、シンポジウムを開催予定。
  - 2013 年 5 月 3 日に、研究会(信州大)を開催予定。
- 先端複合ポリマーナノコンポジット誘電体の応用技術
  - 11 月 15 日に、幹事会を開催。
  - 12 月 17 日に、次回(第 11 回)委員会を開催予定。
  - 12 月 18 日に、研究会(テーマ：空間電荷・ナノコンポジット)を開催予定。
- 屋外用ポリマー絶縁材料の性能評価・改質技術
  - 10 月 22 日に、第 9 回委員会を開催。
  - 2013 年 3 月 22 日の全国大会で、シンポジウムを開催予定。
  - 2013 年 2 月に、次回(第 10 回)委員会を開催予定。
- PEA 法による空間電荷分布測定の校正法標準化と応用測定の開発
  - 12 月 18 日に、研究会(テーマ：空間電荷・ナノコンポジット)を開催予定。

- 高分子材料と放射線の相互作用評価
  - 技術報告を作成中。
- 屋外用ポリマー絶縁材料の表面機能と長期性能
  - 技術報告を作成中(99%完成している)で、幹事が編集中。
- 高電界電気絶縁における電荷挙動と界面
  - 技術報告は転載許諾等の問題から、現在見直し中。

5-10. 先端複合ポリマーナノコンポジット誘電体の応用技術 調査専門委員会 解散報告書について（今井幹事補佐）

資料 DEI-207-8 に基づき、先端複合ポリマーナノコンポジット誘電体の応用技術 調査専門委員会の解散について審議を行い承認された。成果として技術報告単行本を作成する。

5-11. 屋外用ポリマー絶縁材料の性能評価・改質技術 調査専門委員会 解散報告書について（本間委員）

資料 DEI-207-9 に基づき、屋外用ポリマー絶縁材料の性能評価・改質技術 調査専門委員会の解散について審議を行い承認された。2013 年全国大会シンポジウムでの内容をまとめて、技術報告を作成する。また、少し期間を開けて、後継委員会を立ち上げる予定である。

5-12. 屋外用ポリマー絶縁材料の性能評価・改質技術 調査専門委員会の電気学会「特別活動賞」への推薦について（本間委員）

資料 DEI-207-10 に基づき、屋外用ポリマー絶縁材料の性能評価・改質技術 調査専門委員会で 10 年に渡って実施してきた「がいしセミナー」を、電気学会「特別活動賞」へ推薦したことが紹介された。

また、候補委員会・グループ名は、調査専門委員会名ではなく、「がいしセミナー実行委員会」としていることが報告された。

5-13. 第 43 回 電気電子絶縁材料システムシンポジウム 開催報告について（高橋幹事補佐）

資料 DEI-207-11 に基づき、第 43 回 電気電子絶縁材料システムシンポジウム 開催報告が紹介された。

5-14. 第 43 回 電気電子絶縁材料システムシンポジウム 収支報告について（高橋幹事補佐）

資料 DEI-207-12 に基づき、第 43 回 電気電子絶縁材料システムシンポジウム 収支報告が紹介された。

5-15. 第 44 回 電気電子絶縁材料システムシンポジウム および ISEIM 2014 について（高橋幹事補佐）

資料 DEI-207-13 に基づき、第 44 回 電気電子絶縁材料システムシンポジウム および ISEIM 2014 の開催について検討を行い、開催時期について下記のように調整を行なうこととした。

- 第 44 回 電気電子絶縁材料システムシンポジウムは、9 月の第 1 週に開催で調整する。
- ISEIM 2014 は、会場として予定している朱鷺メッセの空き状態から、2014 年 6 月、

或いは、7 月に開催で調整する。

６．次回(第 208 回)技術委員会の開催

第 208 回 誘電・絶縁材料技術委員会は、2013 年 3 月 15 日に、東京(東京都市大 渋谷キャンパス)で開催する。

－以上－